

「平成31年度に実施した仕事」の振返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 6 月 29 日

事業名称		予防事業費[予防接種費用助成]										
予算科目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	2	予防費	事業番号	1	
事業の種別	☐ 市単独 ☒ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	健康 課 予防 係 課長名 志村 明子											
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。									施策番号	2 - 1		
【施策名】 保健・医療の充実									総合計画書 (ページ)	47		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 定期予防接種対象者のうち、やむを得ない事情により、当該予防接種対象期間内に、或いは指定医療機関で予防接種をできなかった市民					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 申請件数						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 予防接種費用助成により対象者に対し、予防接種に係る経済的負担を軽減し、未接種者を減らし、対象者の疾病に対する予防を図る					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 助成件数/申請件数						
	③ そのために何をしましたか。 予防接種費用助成					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 予防接種費用助成額						
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標				
	対象指標	①の数値	件	120	104	41						
	成果指標	②の数値	%	100.0	100.0	100.0						
	目 標	②の目標値	%			100						
		目標値設定の考え方 申請者に助成し、経済的負担軽減を図る。										
3 経費	活動指標		③の数値	円	923,543	687,469	254,281					
	事業費(実績)		円	927,643	695,997	254,281	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)					
	財源	一般財源	円	890,643	620,997	234,281						
		特定財源	円	37,000	75,000	20,000						
		(うち受益者負担)	円	0	0							
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	時間	50.0	50.0	50.0						
		所要人数(再任用)	時間	0.0	0.0							
		職員人件費(再任用以外)	円	210,000	210,000	21,500						
	職員人件費(再任用)	円	0	0								
事業費+人件費		円	1,137,643	905,997	275,781							
4 環境変化等	(1) 開始年度		23 年度									
	(2) 環境の変化 定期予防接種対象期間にやむを得ない事情により接種できなかった場合に、予防接種に係る経済的負担を軽減し、未接種者を減らし、疾病に対する予防を図るために開始した。平成23年度より、定期予防接種のうちBCGとMRを対象とし、平成25年度より、定期予防接種全種類に拡大し、上限額を5,000円とした。また、平成27年度より、里帰り出産等による市外での定期接種について上限額を当市定期予防接種委託料の単価とし、助成対象とした。生後2か月という早い時期からの接種する予防接種が増えたこと、里帰りの長期化が増えたこと等様々な理由で指定医療機関での実施が困難な状況がみられる。											

事業名称	予防事業費[予防接種費用助成]			
担当部署・課長名	健康	課	予防	係 課長名 志村 明子

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	骨髄移植等の治療により、免疫を消失した際の、定期予防接種の再接種について、医療機関を通して問い合わせがあった。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☐ 取り組んだ ☒ 取り組まない		取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）			
	・里帰り期間の長期化と生後2～3か月に実施する予防接種が多いことから、里帰りによる市外接種への費用助成は今後も増加する見込みであるが、乳児が計画的な予防接種を実施するためには必要な制度であるため継続する。 ・B型肝炎任意予防接種の費用助成については、31年度は5歳児を対象として実施し、これをもって終了する。 ・定期予防接種期間終了後の任意予防接種の費用助成については、事業を検証し、改善について検討していく。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。			
	・定期予防接種の市外接種は、市民が滞在する自治体の公費負担や実施医療機関から市に直接請求がされるケースから、自己負担で接種した費用に対する助成（償還払いの意味合い）の割合が急増しているため、今後も事業費増加の可能性がある。 ・B型肝炎任意予防接種について、平成31年度に5歳になる幼児について費用助成を行った。 ・骨髄移植等の治療により免疫を消失した方への費用助成について、次年度からの実施に向けた調査・検討を行った。			
8	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）			
	・B型肝炎任意予防接種の費用助成については、31年度は5歳児を対象として実施し、これをもって終了する。 ・定期予防接種期間終了後の任意予防接種の費用助成については、予防接種の対象期間が長く、接種機会は充分あると考え、廃止とする。 ・令和2年度から、免疫を消失した方への再接種について、費用助成を開始。			
	8 施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）			
	施策名： 保健・医療の充実 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）			
	☒ 拡大 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☒ 廃止 【取組内容】 骨髄移植等の医療行為によって免疫を消失した方の経済的な負担を軽減するため定期予防接種の再接種費用助成を追加。 定期予防接種の対象期間を1か月過ぎた方への費用助成を廃止。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	医師会等、医療機関との調整・対象者の変更による説明が必要。 市報・HP等により、事業の広報。			